

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 8 月 27 日

前

午 5時 15分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 30 年 8 月 27 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 佐原 佳美



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	防災・減災対策の強化について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	防災・減災対策の強化について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は、今年の6月議会一般質問で「女性の視点を活かした命を守る防災対策の推進について」と題して分かり易い防災ガイドブックや防災アプリの作製、小中学生への防災教育等を提案し、「女性の視点を活かした」分かり易い防災ガイドブックの作製のみ実現に向けた答弁を得ました。</p> <p>しかし、その4日後の6月18日に震度6の大阪府北部地震が発生し、小学4年生の女兒と交通指導員の男性が倒壊したブロック塀の下敷きに、また、たんすや本箱の下敷きになった方々と合わせて4人の尊い命が奪われました。</p> <p>やはり、児童生徒への防災教育や正しい事前対策の学びが必要と思いました。</p> <p>そして、7月5日から降り続いた西日本豪雨では、更に多くの犠牲者や被災者を生み、今なお、ご不自由な生活を強いられています。</p> <p>地震のみならず、いつ、いかなる災害に見舞われるか分からない自然災害列島に住む私達は、被災された皆様の経験が無駄にすることなく学び、災害に備えなければいけないと痛感しました。</p> <p>そして、7月22日、上ノ原自治会に依頼され「上ノ原防災セミナー」に講師として参加しました。そこで、89名の参加を頂き、アンケートをさせて頂きました。(回収率75%、67枚)</p> <p>直近の災害後であり、参加された皆様の関心が高く例年にない多くの感想(34人)、要望(10人)を頂きました。</p> <p>今日は頂いた要望も含め防災の月、9月定例会の一般質問をさせていただきます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>自助・共助による防災・減災対策を推進すべく、市民に情報提供し、命を守る街づくりを強化して欲しい。</p>	

(質問事項)

1. 2014年に全戸配布したハザードマップ(被害予測地図)を最新版に更新し、市のWeb上と全戸配布で、再度、市民に、住まいや関係地域の自然災害被害予測を周知し、認識してもらい防災・減災対策を啓発・推進する計画は如何か。
2. 危険ブロック塀の撤去にかかる費用の補助が、現在最高10万円であるが、民間所有の長い距離のブロック塀は、数百万円掛かるそうである。通学路であれば尚の事、対策が急がれるが、補助の増額を検討できないか。
3. 今年6月、8月に「家具類転倒防止固定具」の研修を受講し、これまでのL字金具やベルト、チェーンでの方法では、効果が薄い実験動画(テレビ放映済含む)を目の当たりにし、最新研究結果で開発された器具での固定に「地震防災ガイドブック」等の紹介器具の変更や高齢世帯や障害者世帯等の申請で実施している「湖西市家具転倒防止事業」の固定方法をより転倒しない安全な固定具に変更しては如何か。
4. 職員によるアイデア募集から調査、研究、試行という事業「みらいのこさい調査事業」第1期提案に(仮)「いいじゃん湖西」というごみ分別アプリによる情報発信が、7月に報告されたが、説明の中で「今後子育て支援情報なども入れられたら」といわれていたが、私が6月に質問した防災アプリの機能も付加できないか。
5. 西日本豪雨で多くの災害ゴミが発生したが、仮置き場の確保から手間取り処理が遅れ生活再建に遅れも生じると新聞で報じていた。「災害廃棄物処理計画」の策定は環境省が早期策定を進めているようだが、焼却炉再稼働の目的の一つでもある災害対策について、当市の現状は如何か。

6. 今年、豊田市、浜松市などが大規模災害時に他自治体やボランティアなどによる人的・物的支援の要請・受入れを迅速化するための「災害時受援計画」を策定し新聞報道されていたが、受援について当市が被災した想定でリアルな対応計画をどれだけ準備しているか伺いたい。

7. 台風などあらかじめ予測できる災害に対して、「行政や自治会などが、「いつ、誰が、何をするか」を整理しておく仕組みの『タイムライン』」を作成していれば首長は判断に迷うことなく被害の最小化に有効と国土交通省は、策定を進めているが、当市はあるのか。

8. 西日本豪雨では、想定を超える雨量には、市作成の『タイムライン』のみでは対応できなかったこともあり、各自治会が策定する方がより具体的に機能するという報道がありました。自治会、個人の避難行動を時系列化して備える『タイムライン』の策定を勧めては如何か。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成30年8月28日

午前 9 時 25 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成30年8月28日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 土屋 和幸 (印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題
1	障害者への虐待防止について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	障害者への虐待防止について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>障害者が家庭内、通所作業所、入所施設において虐待が行われているという報道が後を絶ちません。そうした中でも家庭内虐待などが表に出にくい問題であると思われまます。</p> <p>例えば、障害者の中には、自分の意思をうまく表現することが難しい人もいることから教育施設、職場、入所施設そして家庭など、あらゆる場面が虐待の現場になりうると思われ、昨年9月定例会の一般質問をしたおり、「湖西市において平成29年度上半期の障害者虐待事例は無かった」という素晴らしい回答をいただきましたが、その後関係者や専門書に触れて新たな疑問が生じたのでお伺いします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市の対応が見えないことから質問いたします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者虐待防止センターについて、実際に虐待事例が発生した際の動きは、またそのことを市民へはどのように周知されたか。 2. 障害者虐待防止マニュアルについて、昨年度の一般質問時には作成されていなかったが、その後作成されたか。また、作成されている場合、市民への周知についてどのようにされるのか(ウェブサイト以外のPR方法も検討しているのか)。 3. 虐待防止にかかる予算の確保について、どのように考えているか。前回回答時から考えは変わったか。 4. 虐待については、障害者や保護者は声を出しにくい状況である。これを早期に把握する方法や障害者や保護者が声を表に出す方法を考えているか。 5. 障害者の中には自分の意思を表現することが難しい人もいるため、時として虐待の当事者になりうることもあるが、市はそういった声を聞くことがあるか(拾いあげることがあるか)、またその対応についても考えているか。 	

質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

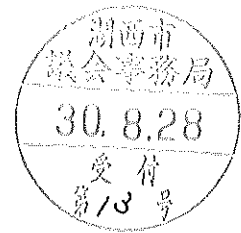
30年 8月28日

前
午 11時00分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

30年 8月 28日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 竹内 祐子



質問方式 (○を付ける)	
一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答	
番号	主 題
1	児童虐待の現状と対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	児童虐待の現状と対策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>児童虐待防止法施行から18年。児童相談所への児童虐待相談対応件数は、2016年度には全国で12万件を超えており、5年前と比べて倍増している。また、児童虐待により年間約80人もの子どもの命が失われている。</p> <p>今年の3月に目黒区で児童虐待によって5歳児が父親に虐待され死亡した事件については、多くの人が心を痛めた。</p> <p>国は児童虐待防止対策については、「妊娠期からの切れ目のない支援」、「初期対応の迅速化や関係機関の連携強化」、「要保護児童対策地域協議会の機能強化」等に重点を置いている。2019年度から2022年度までの児童虐待防止対策体制総合強化プランでは、市町村の相談体制を強化するために必要な職員を確保して、子ども家庭総合支援拠点の設置、要保護対策地域協議会の調整機関の職員について、専門職配置を進めている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>すべての子どもが地域でのつながりを持ち、虐待防止のための早期対応から発生時の迅速な対応、虐待を受けた子どもの自立支援に至るまで、切れ目のない支援を受けられる体制を構築するため、妊娠期からの虐待防止に向けた支援状況及び課題を伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期から切れ目のない支援をする観点から、産前・産後サポート期において、虐待防止の観点から実施していること、また課題は。 2. 妊産婦乳幼児訪問指導事業の現状（虐待リスクを感じる事例など）と課題は。 3. 乳幼児健診未受診者、予防接種の未接種等の状況把握とその対応状況を伺う。また、それらに対する課題は。 4. 保育園や幼稚園に通っていない子どもの把握と支援の実施状況を伺う。また、それらに対する課題は。 	

5. 児童虐待防止の観点から、障害のある子どもとその保護者、生活困窮家庭、ひとり親家庭に対する相談体制と課題を伺う。また、妊娠期からの対応を含めたワンストップの窓口をつくる考えはあるか。
6. 児童虐待を学校で認知した場合の対応を伺う。また、現在の対応状況における課題は。
7. 児童虐待防止の教職員研修の実施状況を伺う。
8. 虐待を受けた子どものケアについて、教育委員会としての対応を伺う。また、現在の対応状況における課題は。

※すべて、虐待防止の観点からの質問です。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 8 月 28 日

前

午 11 時 20 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 30 年 8 月 28 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 吉田建二



質問方式 (○を付ける)		一問一答	一括の質問答弁	一括と一問一答
番号	主 題			
1	広報・広聴活動の充実に向けて			

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	広報・広聴活動の充実に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市総合計画では湖西市の将来像を「市民が誇れる湖西市」と定め、この実現を行政と市民との市民協働で創造していこうと目指しています。</p> <p>市民協働で取り組むには、行政と市民とがお互いに理解し合い、信頼し合って取り組んでこそ実現されます。広報と広聴は行政を推進していくときの潤滑油的な存在であると私は認識しています。</p> <p>そこで行政を更に推進させていくには、広報と広聴の充実を図っていかなければならない。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>広報と広聴の現状についての質問を通して現状の課題を確認し、その解消を図ることにより広報と広聴の充実を図っていただきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>(広報について)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報と広聴はセットで考えていたが、今年の4月から広報は観光交流課の所管となりました。 <ul style="list-style-type: none"> 所管を移された理由を改めてお尋ねするとともに、この約5か月間で成果があったとすればそれは何か、併せてお尋ねします。 2. 広報する内容や対象者、広報の意義など、行政における現在の広報について市はどのように捉えているか。 3. 広報の業務について、今後特に取り組んでいこうとしていることは何か。又、改善したいとする課題があるとすればどのような事項なのか。 	

(広聴について)

4. 市民の意見や要望などを聞いていく行政における広聴について、市はどのように捉えているか。

5. 広聴活動で寄せられた市民からの様々な声や情報の量はどのくらいあり、その内容は問い合わせなのか、提案なのか、どのような分野の事項なのか。又、寄せられた意見等をどのように整理し行政に反映させているのか。そのプロセスを含めて概要を伺いたい。

○市政モニター

○ふれあいポスト、アイデアボックス

○市民意識調査

○懇話会、市民会議、

○パブリックコメント、その他

(今後の取組みについて)

6. 今後、市民協働によるまちづくりを効果的に推進していくためには、広報と広聴を繰り返しながら進めていく「広報と広聴のサイクル」を高めていくことが重要であります。

そのため、先ず全職員が広報と広聴の意義を再認識しようとする意識改革をすること。また、広報広聴の戦略を明確にして成果に繋げるために、広報計画シートや広報評価シートなどを導入することが有効と考えますがいかがか。